

Unanticipated Development: Perspectives on Private Higher Education's Emerging Roles

Daniel C. Levy
University at Albany, State University of New York

発展の不測性：新興私学高等教育の機能に関する展望
ダニエル・レヴィー

要約

その領域と影響力において、驚くべき拡大をグローバルに続ける私学高等教育は、その意外性を持って政府機関、その他関係者の関心を引くことは頻繁にある。私学高等教育機関が中央政府によって策定されることは稀で、その行動の大部分が予想可能であるということは、非常に稀有なことである（一般的で、明白な経済、社会、政治、国際的な傾向は除く）。通例、公共政策は、それに遅れた形で制定されるのである。

私学の拡大すべてが予想不可能というわけではないが、その不測性は高く、驚異的な多様性を含むのである。不測性の高い拡大の中で、もっとも共有性の高い性質を特定し、分析することは有用なことである。特徴的なのは需要吸収型の機関が、私学拡大の大半を担っているということである。その傾向は、私学自体が小規模で、私的機関の伝統のない発展途上国、旧社会主義国にも該当するのである。また、その特徴というのは、私的高等教育と公的高等教育の差異は多大である、という状況も含んでいる。

訳：長澤 誠
ニューヨーク州立大学・オルバニー校

Translated by Makoto Nagasawa
University at Albany, State University of New York